

平成31年1月28日  
愛媛大学

## 附属高校生が課題研究を発表します！ 「SGH報告会」及び「課題研究代表者発表会」

愛媛大学附属高等学校は、文部科学省より平成27年度「スーパーグローバルハイスクール（SGH）」の指定を受け、「伊豫の学びから世界の学びへ」を研究テーマとして取り組んでおります。この取り組みは、SGH企画評価会議による一昨年9月末に公表された中間評価において最も高い評価（全国56校のうち4校）を受けました。このたび、別紙要領で「SGH報告会」及び「課題研究代表者発表会」を開催いたします。

つきましては、取材くださいますようお願いいたします。

記

「SGH報告会」※プログラム詳細は添付資料およびリーフレットをご参照ください。

日時：平成31年2月8日（金）13:30～16:00

◎代表者発表

13:45～14:00 「地域の産業」（1年生）

14:00～14:15 「異文化理解」（2年生）

◎講演

14:30～15:30

演題 「主体的・協同的な学びを通じて生徒たちが求めているもの  
—支援観・評価観の転換を—」

講師 藤井千春（早稲田大学教育・総合科学学術院教授）

会場：愛媛大学附属高等学校

駐車場：有

「課題研究代表者発表会」

日時：平成31年2月9日（土）9:30～12:30

会場：愛媛大学城北キャンパス 南加記念ホール

駐車場：無（公共交通機関をご利用ください）

※伊予鉄道市内電車環状線「赤十字病院前」下車、北へ徒歩3分

※報道機関の方で、車で取材に来られる場合は、正門守衛室で手続きを行い、

来客用駐車場を利用してください



愛媛大学附属高等学校  
平成30年度 SGH報告会・参加無料  
課題研究代表者発表会

【SGH報告会】  
日時 2月8日(金) 13:30～  
場所 愛媛大学附属高等学校

【プログラム】  
13:00～13:30 受付  
13:30～13:45 開会式  
13:45～14:00 「地域の産業」代表者発表  
14:00～14:15 「異文化理解」代表者発表  
14:15～14:30 休憩  
14:30～15:30 講演  
15:30～15:45 質疑応答  
15:45～16:00 閉会式

講師 藤井千春  
演題 「主体的・協同的な学びを通じて生徒たちが求めているもの—支援観・評価観の転換を—」

【「課題研究」代表者発表会】  
日時 2月9日(土) 9:30～  
場所 愛媛大学城北キャンパス 南加記念ホール

【プログラム】  
9:00～9:30 受付  
9:30～12:20 「課題研究」代表者発表  
12:20～12:30 閉会式

愛媛大学附属高等学校  
TEL:089-946-9911 FAX:089-917-8458  
URL:https://www.ehime-u.ac.jp/

愛媛大学  
附属高等学校連絡委員会

※送付資料4枚（本紙を含む）

本件に関する問い合わせ先

愛媛大学附属高等学校

八木 昌生

TEL : 089-946-9911

Mail : yagi.masao.my@ehime-u.ac.jp

## ○スケジュール

### 「SGH報告会」

- 1 日時 平成31年2月8日(金) 13:30~16:00
- 2 会場 愛媛大学附属高等学校
- 3 日程  
13:00~13:30 受付  
13:30~13:45 開会式  
13:45~14:00 「地域の産業」代表者発表  
14:00~14:15 「異文化理解」代表者発表  
14:15~14:30 休憩  
14:30~15:30 講演 藤井千春  
演題：「主体的・協同的な学びを通じて生徒たちが求めているもの  
—支援観・評価観の転換を—」  
15:30~15:45 質疑応答  
15:45~16:00 閉会式

### 「課題研究代表者発表会」

- 1 日時 平成31年2月9日(土) 9:30~12:30
- 2 会場 愛媛大学城北キャンパス 南加記念ホール
- 3 日程  
9:00~9:30 受付  
9:30~9:45 開会式  
9:45~10:45 発表  
①法文学部  
②教育学部  
③社会共創学部  
10:45~11:00 休憩  
11:00~12:20 発表  
④理学部  
⑤医学部  
⑥工学部  
⑦農学部  
12:20~12:30 閉会式

## ○代表者発表について

- (1) 「地域の産業」代表者発表 (1年生：2月8日(金) 13:45~14:00)

「地域の産業」は、愛媛の基盤産業である農業やその生産物の加工・流通の学習を通して、農業の六次産業化や国際化の現状を理解し、地域の課題を発見・探求する力を身に付けさせることを目指しています。1年次の4月より、実験や実習を通して地域理解を深めていながら、地域の課題解決に向けて取り組んできました。この学習を2年次においても継続的に取り組んでおり、本発表会では、代表チームが発表を行います。

- (2) 「異文化理解」代表者発表 (2年生：2月8日(金) 14:00~14:15)

「異文化理解」は、1年次の学習を基礎とし、協定校の視点から世界を見ることによって、地域の課題と世界の課題との繋がりを発見し、協定校と協力して世界の人々と積極的に交流し、コミュニケーションを図ろうとする態度を養うことを目指しています。本発表では、海外研修(アメリカ・フィリピン・ルーマニア・台湾)に参加したグループが代表で発表を行います。

- (3) 「講演」(藤井千春：早稲田大学教育・総合科学学術院教授 2月8日(金) 14:30:から 15:30)

演題：「主体的・協同的な学びを通じて生徒たちが求めているもの—支援観・評価観の転換を—」

講演内容：

生徒たちに課題解決を遂行するための知的・学術的な能力を高めることは大切です。しかし、主体的・協同的な探究活動には、課題解決に向かう意欲・自信など、生徒たちの非認知能力を高めることが期待されています。そのためには、生徒たちそれぞれのよさ・成長・可能性などを発見し、それがさらに伸びる方向に向けて励まして背中を押すこと、また、期待感・困り感・達成感など様々な感情に気づかせて共感したり価値づけたりすることなど、教師には生徒の情意面への支援や質的な評価が求められています。生徒が求めている支援と評価について、生徒の非認知的能力を高めるという観点から考えます。

#### (4) 課題研究代表者発表会 (3年生 : 2月9日 (土) 9:30~12:30)

本校の目指す課題研究は、「生徒がグループで共通テーマを追究するのではなく、各自がその進路を視野に入れつつ自分の興味関心を深く追究する」ことをその特徴としています。個別的な課題研究を重視するのは、グローバル社会に対応するために、まず自ら主体的に考え、その上で他者の声に耳を傾け多様性を許容する資質を涵養することが重要であると考えます。本発表会では、愛媛大学教員(約50名)の協力を得て実施した123研究の中から、選抜された代表者7名による発表を行います。

#### ○SGHの中間評価の結果について

文部科学省では、急速にグローバル化が加速する現状を踏まえ、社会課題に対する関心と深い教養に加え、コミュニケーション能力、問題解決能力等の国際的素養を身に付け、将来、国際的に活躍できるグローバル・リーダーを、国際化を進める国内の大学のほか、企業、国際機関等と連携して、様々な国際舞台で活躍できる人材の育成に取り組む高等学校等を「スーパーグローバルハイスクール(以下「SGH」という)」に指定し、質の高いカリキュラムの開発・実践やその体制整備を進めています。

平成27年度にSGHに指定された56校に対して、SGH企画評価会議協力者による中間評価結果が昨年9月末に公表されました。このSGHの中間評価は、指定3年目の指定校について、SGH企画評価会議協力者(外部の有識者)による2年目までの研究開発の進捗状況等に関する評価を行い、各指定校が研究開発等の内容を見直す機会とし、事業の効率的な実施を図ることを目的とするものです。



愛大附属高等学校  
マスコットキャラクター  
Mr. Sheep

課題研究代表者発表会

【SGH報告会】

日時 2月8日(金) 13:30~

場所 愛媛大学附属高等学校

【プログラム】

- 13:00~13:30 受付
- 13:30~13:45 開会式
- 13:45~14:00 「地域の産業」代表者発表
- 14:00~14:15 「異文化理解」代表者発表
- 14:15~14:30 休憩
- 14:30~15:30 講演
- 15:30~15:45 質疑応答
- 15:45~16:00 閉会式



講演 2月8日 14:30~

講師 藤井 千春

演題 「主体的・協同的な学びを通じて  
生徒たちが求めているもの  
—支援観・評価観の転換を—」

【プロフィール】

早稲田大学教育・総合科学学術院教授 博士(教育学)

「高等学校学習指導要領解説総合的な探究の時間編」作成協力者

SGH企画評価委員

【著書】

『ジョン・デューイの経験主義哲学における思考論』(早稲田大学出版会)

『アクティブラーニング授業実践の原理』(明治図書)

『問題解決学習入門』(学芸みらい社) など多数

■講演内容

生徒たちに課題解決を遂行するための知的・学術的な能力を高めることは大切です。しかし、主体的・協同的な探究活動には、課題解決に向かう意欲・自信など、生徒たちの非認知能力を高めることが期待されています。そのためには、生徒たちそれぞれのよさ・成長・可能性などを発見し、それがさらに伸びる方向に向けて励まして背中を押すこと、また、期待感・困り感・達成感など様々な感情に気づかせて共感したり価値づけたりすることなど、教師には生徒の情意面への支援や質的な評価が求められています。生徒が求めている支援と評価について、生徒の非認知的能力を高めるといった観点から考えてみましょう。

【「課題研究」代表者発表会】

申込不要

日時 2月9日(土) 9:30~

場所 愛媛大学城北キャンパス  
南加記念ホール

【プログラム】

- 9:00~ 9:30 受付
- 9:30~12:20 「課題研究」代表者発表
- 12:20~12:30 閉会式

※各生徒が取り組んだ全123件の課題研究の中から、代表者7名による発表を行います。



※公共の交通機関をご利用下さい。大学の駐車場は利用できません。

主催・問い合わせ



愛媛大学附属高等学校

〒790-8566 愛媛県松山市樽味3丁目2番40号

TEL(089)946-9911 FAX(089)977-8458

URL <http://www.hi.ehime-u.ac.jp/>

共催



愛媛大学

EHIME UNIVERSITY

附属高等学校連携委員会